

図書館からのお知らせ



1. 2月の開館案内

2月の開館

		開館時間	閉館時間
1	火	9:10~17:50	11:30~12:30
2	水		
3	木		
4	金		
5	土	10:30~15:30	
7	月	9:10~16:50	閉館なし
8	火		
9	水		
14	月	9:10~17:50	11:30~12:30
15	火		
16	水		
17	木	9:10~16:50	閉館なし
18	金	9:10~17:50	11:30~12:30
19	土	10:30~15:30	
21	月	9:10~17:50	11:30~12:30
22	火		
24	木		
25	金		
26	土	10:30~15:30	
28	月	9:10~17:50	閉館なし

(注: 記載のない曜日は閉館です)

2. 新着図書の紹介

たくさんの新着図書から図書館員の一押しを紹介します。

・「JK、インドで常識ぶっ壊される」 熊谷はるか(著)



なにも知らないまま降り立ったインド。タピオカもプリクラもない国で、JKが見たものは? 「カレーの国」だけじゃない豊かな文化。目を輝かせて未来を語るスラムの少年少女たち。現役女子高生が綴ったインドの光と影。第16回出版甲子園グランプリ受賞作品!

・「難しい本をどう読むか」 齋藤孝(著)

マルクス、ニーチェ、ハイデガー……名著を紐解き、大思想家の声に触れる喜び! 古今東西の難解とされる名著を読むための「共通ルール」と14作品の具体的な解説法を伝授する。



・「地図でスッと頭に入る三国志」 渡邊義浩(監修)



黄巾の乱から赤壁の戦い、三国時代の終焉まで各国勢力と武将の動きが一目でわかる! “くらべて楽しむ三国志”など三国志を深掘りするコラムも読みごたえ十分!

~他にもあります「地図でスッと頭に入る」シリーズ



3. 第166回 芥川賞・直木賞受賞作品紹介

芥川賞

・「ブラックボックス」 砂川文次(著) 講談社



自分の中の怒りの暴発を、なぜ止められないのだろう。自衛隊を辞め、いまは自転車メッセンジャーの仕事に就いているサクマは、都内を今日もひた走る。張りぼての向こう側に広がっているかもしれない実相に触れることはできない。気鋭の作家、新境地の傑作中篇。

直木賞

・「黒牢城」 米澤穂信(著) KADOKAWA



本能寺の変より約3年前。信長に叛逆し籠城した荒木村重は城内で発生する怪事件に悩まされる。村重は幽閉した織田方の軍師・黒田官兵衛に謎を解くよう命じるが――。

・「塞王の楯」 今村翔吾(著) 集英社



石工の匡介と鉄砲職人の彦九郎。大津城を舞台に、信念をかけた職人の対決が幕を開ける。ぶつかり合う、矛盾した想い。答えは戦火の果てに――。「最強の楯」と「至高の矛」の対決を描く、圧倒的戦国小説!

芥川賞・直木賞についての豆知識

正しくは芥川龍之介賞、直木三十五賞。菊池寛の友人だった芥川龍之介(1892~1927年)、直木三十五(1891~1934年)の名前にちなんだもので、芥川賞は純文学の短編、直木賞は大衆文学に与えられる。

出典: 情報・知識 imidas, JapanKnowledge lib